

2026年度
春学期入学
大学院入学試験要項

人文社会科学研究科

日本語日本文学専攻〈修士課程〉

言語文化専攻〈修士課程〉

歴史文化専攻〈修士課程〉

法・政治学専攻〈修士課程〉

経済・経営学専攻〈修士課程〉

人文科学専攻〈博士後期課程〉【2026年4月開設】

社会科学専攻〈博士後期課程〉【2026年4月開設】

2026
CHUKYO UNIVERSITY

目次

・入学者受入れの方針	p. 1	Ⅲ 受験・合格発表・入学手続等	
・個人情報の取扱い	p. 5	1. 受験票の受取り	p. 28
Ⅰ 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等		2. 試験当日の注意事項（持ち物含む）	p. 28
1. 入学定員と試験区分（選抜方式）	p. 6	3. 合格発表（可否通知発送）	p. 29
2. 入試日程	p. 6	4. 入学手続	p. 29
3. 出願資格	p. 8	5. 入学試験の成績開示	p. 29
4. 研究指導希望教員の確認	p. 12	Ⅳ 学費・経済支援等	
5. 選考方法	p. 12	1. 学費等	p. 30
6. 試験科目・時間・配点等	p. 14	2. 経済支援等	p. 31
7. 試験当日集合場所・時間	p. 22	Ⅴ 教員組織	
Ⅱ 出願書類・出願方法等		・教員組織	p. 33
1. 出願書類	p. 23	Ⅵ 巻末書類	
2. 出願方法・出願上の注意事項	p. 26	・各種出願書類	

入学者受入れの方針

区分	入学者受入れの方針
中京大学大学院 共通	<p>中京大学大学院は、建学の精神及び中京大学の理念並びに学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針を踏まえ、社会の発展に貢献できる研究者を育成していきます。本大学院では以下に示す意欲と能力を持つ人を広く求めています。</p> <p>博士前期課程及び修士課程</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的な文章を作成する能力を有している。 2. 専攻分野における学士水準の基礎的な知識を有している。 3. 外国人留学生は研究を遂行する上で必要な日本語能力を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の社会が直面する諸課題について専攻分野の視点から思考することができる。 2. 専攻分野における諸課題に対して、自らの問題意識を整理しわかりやすく他者に伝えることができる。 <p>【意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している。 2. 自ら設定した研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。 3. 教員及び他の学生とのチームワークを大切にしながら切磋琢磨することができる。 <p>博士後期課程</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専攻分野における修士水準の高度な知識を有している。 2. 専攻分野における修士水準の研究手法を身に付けている。 3. 外国人留学生（日本語による授業を受ける人）は博士水準の研究を遂行する上で必要な日本語能力を有している。 4. 外国人留学生（英語による授業を受ける人）は博士水準の研究を遂行する上で必要な英語力を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の社会が直面する諸課題について専攻分野の視点から思考し、その解決に向けた計画を立案することができる。 2. 自らの研究成果を明確かつ説得力をもって他者に説明することができる。 <p>【意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究者としての倫理観と責任感を備え、社会に貢献する志を有している。 2. 自ら設定した研究課題について、自立して持続的に研究を遂行する意欲を有している。 3. 教員及び他の学生とのチームワークを大切にしながら切磋琢磨することができる。 <p>各研究科・専攻は「養成する人材像」「教育研究上の目的」に基づき、上記の「中京大学大学院における入学者受入れの方針」を踏まえた「入学者受入れの方針」を定めるとともに、入学試験要項において、方針を具現化した出願資格、選抜方式及び試験科目等を示している。</p>

区分	入学者受入れの方針
人文社会科学研究科 全専攻共通	<p>人文社会科学研究科は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、以下に示す全専攻に共通する知識や能力等及び専攻別に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】 論理的な文章を作成する能力を有している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。 2. 自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる。 <p>【意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している。 2. 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。 3. 研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している。 4. 専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している。
日本語日本文学専攻	<p>日本語日本文学専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究する時代や分野を中心に、学士水準の日本文学や日本語に関する知識を有している。 2. 日本文学や日本語の関係資料を読み解き、研究に活用するための知識や技能を身に付けている。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 4. 社会人学生及び外国人留学生は、学士課程の低学年段階で修得すべき日本文学や日本語に関する基本的な知識を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本文学や日本語の検討を可能にする分析力及び思考力を有している。 2. 一般学生は、日本文学や日本語について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を日本文学や日本語学に関連づけて思考し、日本文学や日本語学の分野における新たな問題を発見する能力を有している。
言語文化専攻	<p>言語文化専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 言語文化研究の諸領域に亘る学士水準の基本的知識を有し、それについて論理的に論述する能力を有している。 2. 専門分野に関する外国語文献資料の基礎的な読解力を有している。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N2レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料やデータを論理的に分析し、対象に対する意見や見解を形成し提示することができる。 2. 資料やデータに基づいて、論理的かつ客観的な批評的評価を下すことができる。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会経験を言語文化研究に関連づけて思考し、言語文化研究に関わる新たな問題を発見する能力を有している。 <p>【意欲・態度】 言語文化研究に対する真摯な知的関心をもって研究に取り組む意志と態度を有している。</p>
歴史文化専攻	<p>歴史文化専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究しようとする時代や分野を中心に、日本の歴史文化全体に及ぶ基本的知識を有している。 2. 歴史資料を読み解くことができ、それを歴史研究に活用するための基本的な技能と知識を有している。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究に関する明確なテーマと計画を有し、研究しようとする事象について、日本の歴史文化の中に位置づけながら研究意義を説明できる。 2. 歴史文化に関わる関連な議論を経ることによって自らを成長させてゆく自覚と、そのためのコミュニケーション能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会経験を歴史文化研究に関連づけて思考し、歴史文化研究に関わる新たな問題を発見する能力を有している。 <p>【意欲・態度】 日本の歴史文化に関する専門知識を活かして社会に貢献する意欲を有している。</p>

区分	入学者受入れの方針
法・政治学専攻	<p>法・政治学専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>〈修士（法学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 条文の解釈や判例の読み方といった法技術的な知識を有している。 2. 一般学生は、学士水準の法学の体系的・専門的な知識を身に付けている。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 4. 社会人学生及び外国人留学生は、日本の法律制度に関する基本的な知識を有している。 5. 税理士志望の学生は、学士水準の税法に関する知識を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法の内容それ自体に対する批判的な見方を可能にする分析力及び思考力を有している。 2. 現代社会における法的な課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を法学と関連づけて思考し、法学分野における新たな問題を発見する能力を有している。 <p>〈修士（政治学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般学生は、学士水準の政治学の体系的・専門的な知識を身に付けている。 2. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、現代の日本や世界が抱える政治的な課題について、政治史・政治理論、政治思想等の観点から説明できる基本的な知識を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治の内容それ自体に対する批判的な見方を可能にする分析力及び思考力を有している。 2. 現代社会における政治的な課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験と政治学を関連づけて思考し、政治学分野における新たな問題を発見する能力を有している。
経済・経営学専攻	<p>経済・経営学専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>〈修士（経済学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般学生は、経済学及びその関連領域における学士水準の基礎知識を身に付けている。 2. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、グローバルな視点で経済について考察することのできる広い知見を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門教育を受けるに適した数学的思考力、経済に関する諸現象、諸問題に対して分析や洞察を行う能力を有している。 2. 一般学生は、現代の経済社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を経済学と関連づけて思考し、経済学分野における新たな問題を発見する能力を有している。 <p>【意欲・態度】</p> <p>経済に関する諸問題を科学的な手法に基づいて分析することに関心を有している。</p> <p>〈修士（経営学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般学生は、経営学及びその関連領域における学士水準の基礎知識を身に付けている。 2. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、グローバルな視点で経営について考察することのできる広い知見を有している。 4. 税理士志望の学生は、学士水準の会計学に関する知識を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門教育を受けるに適した問題処理能力、経営に関する諸現象、諸問題に対して分析や洞察を行う能力を有している。 2. 一般学生は、会社組織を始めとする各種組織体の経営や、それを取り巻く外部環境に関する諸課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。 3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を経営学と関連づけて思考し、経営学分野における新たな問題を発見する能力を有している。 <p>【意欲・態度】</p> <p>経営に関する諸問題を科学的な手法に基づいて分析することに関心を有している。</p>

区分	入学者受入れの方針
<p>人文科学専攻 <2026年4月開設></p> <p>(日本語日本文学領域)</p> <p>(言語文化領域)</p> <p>(歴史文化領域)</p>	<p>人文科学専攻博士後期課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻の共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】 自立して研究を遂行する上で必要な修士水準の研究手法や計画性を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 1. 自立して研究を遂行する上で必要な論理的・体系的思考力と価値判断能力を有している。 2. 自らの専門分野に偏重することのないグローバルな視点や学際的な視点を有している。</p> <p>【意欲・態度】 1. 他の研究者と協調しながら研究を遂行する意思と態度を有している。 2. 専門知識や研究成果を社会的現実に応用する意思と態度を有している。</p> <p>〈博士（文学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】 1. 日本文学、日本語学又は関連分野の修士水準の専門的な知識を修得している。 2. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 1. 日本文学、日本語学又は関連分野の修士水準の専門的な知識に基づく問題意識や問題発見能力を有している。 2. 一定の学術的根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。</p> <p>【意欲・態度】 1. 日本文学、日本語学又は関連する学問の水準を高める研究業績を博士論文において示す意欲を有している。 2. 日本文学、日本語学又は関連する学問の学理を追求し、自らの研究能力を向上させるための努力をする態度を有している。</p> <p>〈博士（言語文化）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】 1. 言語文化に関わる学問分野の修士水準の専門的な知識を修得している。 2. 自らの研究に必要な外国語文献資料を読解する能力を有している。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N2レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 1. 言語文化に関わる学問分野の修士水準の専門的な知識に基づく問題意識や問題発見能力を有している。 2. 一定の学術的根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。</p> <p>【意欲・態度】 1. 言語文化に関わる学問の水準を高める研究業績を博士論文において示す意欲を有している。 2. 言語文化に関わる学問の学理を追求し、自らの研究能力を向上させるための努力をする態度を有している。</p> <p>〈博士（歴史文化）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】 1. 日本の歴史に関わる修士水準の専門的な知識を修得している。 2. 日本の歴史研究を遂行する上で必要な古文書や史資料の読解力を有している。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 1. 日本の歴史に関わる修士水準の専門的な知識に基づく問題意識や問題発見能力を有している。 2. 一定の学術的根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。</p> <p>【意欲・態度】 1. 日本の歴史に関わる学問の水準を高める研究業績を博士論文において示す意欲を有している。 2. 日本の歴史に関連する学問の学理を追求し、自らの研究能力を向上させるための努力をする態度を有している。</p>
<p>社会科学専攻 <2026年4月開設></p> <p>(法学領域)</p>	<p>社会科学専攻博士後期課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻の共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】 自立して研究を遂行する上で必要な修士水準の研究手法や計画性を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 1. 自立して研究を遂行する上で必要な論理的・体系的思考力と価値判断能力を有している。 2. 自らの専門分野に偏重することのないグローバルな視点や学際的な視点を有している。</p> <p>【意欲・態度】 1. 他の研究者と協調しながら研究を遂行する意思と態度を有している。 2. 専門知識や研究成果を社会に還元する意思と態度を有している。</p> <p>〈博士（法学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】 1. 修士水準の法学の専門的な知識を修得している。 2. 自らの研究に必要な外国語文献資料（又は法史学を専門分野とする場合は古文書）を読解する能力を有している。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 1. 修士水準の法学の専門的な知識に基づく問題意識や問題発見能力を有している。 2. 一定の学術的根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。</p> <p>【意欲・態度】 1. 法学の学問水準を高める研究業績を博士論文において示す意欲を有している。 2. 法学の学理を追求し、自らの研究能力を向上させるための努力をする態度を有している。</p>

区分	入学者受入れの方針
社会科学専攻 (政治学領域)	<p>〈博士（政治学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修士水準の政治学の専門的な知識及びその他関連する諸分野の知識を修得している。 2. 自らの研究に必要な外国語文献資料を読解する能力を有している。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修士水準の政治学の専門的な知識に基づく問題意識や問題発見能力を有している。 2. 一定の学術的根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。 <p>【意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治学の学問水準を高める研究業績を博士論文において示す意欲を有している。 2. 政治学の学理を追求し、自らの研究能力を向上させるための努力をする態度を有している。
(経済学領域)	<p>〈博士（経済学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修士水準の経済学の専門的な知識を修得している。 2. 英語文献資料を読解する能力を有している。 3. 経済に関する諸問題を科学的な手法に基づいて分析する能力を有している。 4. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修士水準の経済学の専門的な知識に基づく問題意識や問題発見能力を有している。 2. 一定の学術的根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。 <p>【意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の学問水準を高める研究業績を博士論文において示す意欲を有している。 2. 経済学の学理を追求し、自らの研究能力を向上させるための努力をする態度を有している。
(経営学領域)	<p>〈博士（経営学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修士水準の経営学の専門的な知識を修得している。 2. 自らの研究に必要な英語文献資料を読解する能力を有している。 3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修士水準の経営学の専門的な知識に基づく問題意識や問題発見能力を有している。 2. 一定の学術的根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。 <p>【意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学の学問水準を高める研究業績を博士論文において示す意欲を有している。 2. 経営学の学理を追求し、自らの研究能力を向上させるための努力をする態度を有している。

個人情報取扱

- ①出願書類に記入された住所・氏名・その他個人情報については、可否結果通知及び合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。
- ②大学が業務を委託した会社に、個人情報の全部又は一部を提供します。目的以外の用途に使用することはありませんので、予めご了承ください。

I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	(領域) ^{※1}	課程	試験区分 ^{※2}							入学定員
				一般選抜	社会人選抜	留学生選抜	税理士選抜 ^{※3}	卒業生特別選抜	修了生特別選抜	学内特別選抜	
人文社会科学	日本語日本文学	—	修士	○	○	○	—	○	—	○	5名
	言語文化	—		○	○	○	—	○	—	○	5名
	歴史文化	—		○	○	○	—	○	—	○	3名
	法・政治学	(法学)		○	○	○	○ ^{※4}	○	—	○	8名
		(政治学)		○	○	○	—	○	—	○	
	経済・経営学	(経済学)	○	○	○	—	○	—	○	5名	
		(経営学)	○	○	○	○	○	—	○		
	人文科学 <2026年4月開設>	(日本語日本文学)	○	—	—	—	—	○	○	2名	
		(言語文化)	○	—	—	—	—	○	○		
		(歴史文化)	○	—	—	—	—	○	○		
	社会科学 <2026年4月開設>	(法学)	○	—	—	—	—	○	○	2名	
		(政治学)	○	—	—	—	—	○	○		
		(経済学)	○	—	—	—	—	○	○		
		(経営学)	○	—	—	—	—	○	○		

※1 …法・政治学専攻、経済・経営学専攻、人文科学専攻及び社会科学専攻は、研究指導希望教員の所属領域が学生の所属領域となるため、P.33以降に記載する教員組織を参照の上、出願時に所属領域を選択すること。なお、入学後に所属領域を変更することはできない。

※2 …同一日程における複数の試験区分の併願はできない。

※3 …税理士を志望する者は税理士選抜を受験すること。

※4 …法・政治学専攻（法学領域）の税理士選抜での入学者数の上限は、4名を目安とする。

学内特別選抜については別冊子『2026年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教務センター（大学院係）窓口にて配付）を参照してください。

2. 入試日程

日本人・外国人（留学生以外）・日本国内在住の外国人留学生対象*

*日本国内在住であっても、2026年3月10日までに在留期限が切れる者、もしくは「留学」以外の在留資格から「留学」への資格変更を希望する者は含まない（該当者はP.7に記載する日本国外在住の外国人留学生対象の日程で受験すること）。

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※1} 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※2} 消印有効	入学辞退手続 締切日 必着
前期日程	日本語日本文学	修士	一般 社会人 留学生 卒業生特別	2025年 8月21日（木） ～ 8月29日（金）	2025年 9月20日（土）	2025年 10月1日（水）	【第一次入学手続】 2025年 10月10日（金） 【最終入学手続】 2026年 3月10日（火）	2026年 3月31日（火）
	言語文化							
	歴史文化							
	法・政治学		一般 社会人 留学生 卒業生特別 税理士					
	経済・経営学							

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間※ ¹ 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日※ ² 消印有効	入学辞退手続 締切日 必着
前期日程	人文科学	博士 後期	一般 修了生特別	2025年 8月21日(木) ～ 8月29日(金)	2025年 9月20日(土)	2025年 10月1日(水)	【第一次入学手続】 2025年 10月10日(金) 【最終入学手続】 2026年 3月10日(火)	2026年 3月31日(火)
	社会科学							
後期日程	日本語日本文学	修士	一般 社会人 留学生 卒業生特別	2026年 1月13日(火) ～ 1月22日(木)	2026年 2月14日(土)	2026年 2月24日(火)	【入学手続】 2026年 3月10日(火)	
	言語文化							
	歴史文化							
	法・政治学	博士 後期	一般 修了生特別					
	経済・経営学							
	人文科学							
社会科学								

日本国外在住の外国人留学生対象*

*…日本国外に在住する外国人かつ本学大学院入学時に在留資格「留学」を得る予定である者

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間※ ¹ 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日※ ² 消印有効	入学辞退手続 締切日 必着
前期日程のみ	日本語日本文学	修士	一般 社会人 留学生 卒業生特別	2025年 8月21日(木) ～ 8月29日(金)	2025年 9月20日(土)	2025年 10月1日(水)	【第一次入学手続】 2025年 10月10日(金) 【最終入学手続】 2025年 11月10日(月)	2026年 3月31日(火)
	言語文化							
	歴史文化							
	法・政治学	博士 後期	一般 修了生特別					
	経済・経営学							
	人文科学							
社会科学								

※¹ …出願期間の平日(9:00～17:00)は、教務センター(大学院係)窓口での出願受付可。詳細は、本冊子「II 出願書類・出願方法等」の「2. 出願方法・出願上の注意事項」を参照すること。

外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教務センター(大学院係)に相談すること。

※² …入学手続の概要は以下のとおり。

【第一次入学手続】 入学金の納入のみ

【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付

【入学手続(後期日程)】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

※³ …法・政治学専攻(法学領域)の税理士選抜は、前期日程で入学者数の上限の目安(4名)を超える合格者がいる場合は、後期日程に当該選抜を実施しないことがある(実施しない場合は2025年10月下旬に本学公式ホームページで告知する)。

3. 出願資格

修士課程

試験区分	出 願 資 格
一般選抜	<p>以下の①～⑩のいずれかに該当する者又は2026年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】</p> <p>⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院係）まで問い合わせてください。</p> <p>対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p> <p>〈法・政治学専攻（政治学領域）〉 以上の出願資格を満たすほか、以下に該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CEFR B1相当以上の英語検定試験のスコアを保有している者（国際関係・国際開発分野を専攻する者については、B2相当以上のスコアを保有していることが望ましい）。 ※英語を教授言語とする大学・大学院を卒業・修了した者（見込みを含む）及び母語が英語である者は不要とする。 ※CEFR B1・B2相当の英語検定試験のスコアについては、P.12に記載する「検定試験とCEFRとの対照表（英語）」を参照すること。 ※国際関係・国際開発分野を専攻する者とは、国際関係・国際開発を専門分野とする教員を研究指導教員とする者を指す（教員の専門分野は P.34に記載する教員組織を参照すること）。
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、以下に該当する者又は2026年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学卒業後の職歴、ボランティア歴、社会活動歴のいずれかが5年以上ある者。 ※出願時の職業の有無、活動の有無は問わない。 ※職業は正規・非正規を問わない。 ※ボランティア、社会活動の内容は問わない。 <p>〈法・政治学専攻（政治学領域）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜における法・政治学専攻（政治学領域）の出願資格である英語検定試験のスコアの保有は、日本政治・公共政策分野を専攻する者については、本選抜においては求めない。 ※日本政治・公共政策分野を専攻する者とは、国際関係・国際開発分野以外を専門分野とする教員を研究指導教員とする者を指す（教員の専門分野は P.34に記載する教員組織を参照すること）。
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、以下に該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者。

試験区分	出 願 資 格												
卒業生特別選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、以下の①②に該当する者。</p> <p>①本学を2020年度から2024年度の間卒業した者 ②専攻が定める以下表の要件を満たす者</p> <table border="1" data-bbox="459 248 1430 1167"> <thead> <tr> <th data-bbox="459 248 659 286">出願する専攻</th> <th data-bbox="662 248 1430 286">要 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="459 291 659 376">日本語日本文学</td> <td data-bbox="662 291 1430 376">本学文学部（日本文学科又は言語表現学科）の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 380 659 555">言語文化</td> <td data-bbox="662 380 1430 555">以下のいずれかに該当する者。 ・本学国際学部言語文化学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 560 659 611">歴史文化</td> <td data-bbox="662 560 1430 611">本学文学部歴史文化学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 616 659 869">法・政治学</td> <td data-bbox="662 616 1430 869">以下のいずれかに該当する者。 ・本学法学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部言語文化学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 873 659 1167">経済・経営学</td> <td data-bbox="662 873 1430 1167">以下いずれかに該当する者。 ・本学経済学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学経営学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部言語文化学科（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈法・政治学専攻（政治学領域）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜における法・政治学専攻（政治学領域）の出願資格である英語検定試験のスコアの保有は、日本政治・公共政策分野を専攻する者については、本選抜においては求めない。 ※日本政治・公共政策分野を専攻する者とは、国際関係・国際開発分野以外を専門分野とする教員を研究指導教員とする者を指す（教員の専門分野は P. 34に記載する教員組織を参照すること）。 	出願する専攻	要 件	日本語日本文学	本学文学部（日本文学科又は言語表現学科）の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者	言語文化	以下のいずれかに該当する者。 ・本学国際学部言語文化学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者	歴史文化	本学文学部歴史文化学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者	法・政治学	以下のいずれかに該当する者。 ・本学法学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部言語文化学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者	経済・経営学	以下いずれかに該当する者。 ・本学経済学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学経営学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部言語文化学科（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者
出願する専攻	要 件												
日本語日本文学	本学文学部（日本文学科又は言語表現学科）の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者												
言語文化	以下のいずれかに該当する者。 ・本学国際学部言語文化学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者												
歴史文化	本学文学部歴史文化学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者												
法・政治学	以下のいずれかに該当する者。 ・本学法学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部言語文化学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者												
経済・経営学	以下いずれかに該当する者。 ・本学経済学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学経営学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者 ・本学国際学部言語文化学科（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者												
税理士選抜 <small>法・政治学専攻（法学領域）、 経済・経営学専攻（経営学領域）のみ</small>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、以下に該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士を志望する者。 												
全試験区分共通 <small>外国人留学生のみ</small>	<p>出願する試験区分の出願資格を満たすほか、以下の①～④のいずれかに該当する者。</p> <p>①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験（JLPT）のN1（言語文化専攻はN2以上）に合格した者</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の日本語科目450点満点のうち250点以上を得点し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち30点以上を得点した者（言語文化専攻は日本語科目（読解・聴解・聴読解のみで記述を除く400点満点）で200点以上を得点した者）</p> <p>③日本の大学の学部を卒業した者（卒業見込みを含む）又は日本の大学院を修了した者（修了見込みを含む） ※ただし、日本語以外の言語による授業のみで卒業（修了）可能なプログラム（コース）に所属する者及び卒業・修了した者（見込みを含む）は対象外とする。</p> <p>④本研究科において、上記①及び②と同等以上の日本語能力を有すると認めたる者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>④による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院係）まで問い合わせてください。</p>												

博士後期課程

試験区分	出 願 資 格
一般選抜	<p>以下の①～⑧のいずれかに該当する者又は2026年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 ⑥⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院係）まで問い合わせてください。</p>
	<p>〈社会科学専攻（政治学領域）〉 以上の出願資格を満たすほか、以下に該当する者。 ・CEFR B1相当以上の英語検定試験のスコアを保有している者（国際関係・国際開発分野を専攻する者については、B2相当以上のスコアを保有していることが望ましい）。 ※英語を教授言語とする大学・大学院を卒業・修了した者（見込みを含む）及び母語が英語である者は不要とする。 ※CEFR B1・B2相当の英語検定試験のスコアについては、P.12に記載する「検定試験とCEFRとの対照表（英語）」を参照すること。 ※国際関係・国際開発分野を専攻する者とは、国際関係・国際開発を専門分野とする教員を研究指導教員とする者を指す（教員の専門分野は P.34に記載する教員組織を参照すること）。</p>
	<p>〈社会科学専攻（経済学領域及び経営学領域）〉 以上の出願資格を満たすほか、以下に該当する者。 ・CEFR B1相当以上の英語検定試験のスコアを保有している者。 ※英語を教授言語とする大学・大学院を卒業・修了した者（見込みを含む）及び母語が英語である者は不要とする。 ※CEFR B1相当の英語検定試験のスコアについては、P.12に記載する「検定試験とCEFRとの対照表（英語）」を参照すること。</p>

試験区分	出 願 資 格	
修了生特別選抜	一般選抜の出願資格を満たすほか、専攻及び領域が定める以下表の要件を満たす者。	
	出願する専攻（領域）	要 件
	人文科学（日本語日本文学）	以下のいずれかに該当する者。 ・本学大学院文学研究科日本文学・日本語文化専攻博士前期課程（修士課程）を修了した者。 ・本学大学院文学研究科国文学専攻博士前期課程（修士課程）を修了した者。
	人文科学（言語文化）	以下のいずれかに該当する者。 ・本学大学院国際英語学研究科修士課程を修了した者 ・本学大学院文学研究科博士前期課程（修士課程）を修了した者
	人文科学（歴史文化）	本学大学院文学研究科歴史文化専攻修士課程を修了した者
	社会科学（法学）	以下のいずれかに該当する者。 ・本学大学院法学研究科博士前期課程（修士課程）を修了した者 ・本学大学院経済学研究科総合政策学専攻博士前期課程（修士課程）を修了した者
	社会科学（政治学）	以下のいずれかに該当する者。 ・本学大学院法学研究科博士前期課程（修士課程）を修了した者 ・本学大学院経済学研究科総合政策学専攻博士前期課程（修士課程）を修了した者
	社会科学（経済学）	本学大学院経済学研究科博士前期課程（修士課程）を修了した者。 ※一般選抜の出願資格である英語検定試験のスコアの保有は、本選抜においては求めない。
社会科学（経営学）	以下のいずれかに該当する者。 ・本学大学院経済学研究科総合政策学専攻博士前期課程（修士課程）を修了した者 ・本学大学院経営学研究科博士前期課程（修士課程）を修了した者 ・本学大学院商学研究科博士前期課程（修士課程）を修了した者 ・本学大学院ビジネス・イノベーション研究科修士課程を修了した者 ※一般選抜の出願資格である英語検定試験のスコアの保有は、本選抜においては求めない。	

次ページにつづく

試験区分	出願資格
全試験区分共通 外国人留学生のみ	<p>出願する試験区分の出願資格を満たすほか、以下の①～④のいずれかに該当する者。</p> <p>①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験（JLPT）のN1（人文科学専攻言語文化領域はN2以上）に合格した者</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の日本語科目450点満点のうち250点以上を得点し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち30点以上を得点した者（人文科学専攻言語文化領域は日本語科目（読解、聴解・聴読解のみで記述を除く400点満点）で200点以上を得点した者）</p> <p>③日本の大学の学部を卒業した者又は日本の大学院を修了した者（修了見込みを含む） ※ただし、日本語以外の言語による授業のみで卒業（修了）可能なプログラム（コース）に所属する者及び卒業・修了した者（見込みを含む）は対象外とする。</p> <p>④本研究科において、上記①及び②と同等以上の日本語能力を有すると認められた者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>④による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院係）まで問い合わせてください。</p>

●検定試験と CEFR との対照表（英語）

文部科学省作成「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（平成30年3月）」より抜粋

CEFR	実用英語 技能検定	ケンブリッジ 英語検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL® iBT	TOEIC® L&R TOEIC® S&W
B2	2599	179	1349	6.5	374	795	94	1840
	2300	160	1190	5.5	309	600	72	1560
B1	2299	159	1189	5.0	308	595	71	1555
	1950	140	960	4.0	225	420	42	1150

- 資格・検定試験のスコア取得の時期は出願書類の提出期限までとする。
- 実用英語技能検定は、「英検 S-CBT」のスコアも対象とする。
- GTEC は、オフィシャルスコア証明書が発行される「検定版」及び「CBTタイプ」を対象とする（「アセスメント版」は対象外）。
- TOEFL® iBT は、「MyBest® スコア」ではなく、Test Dateスコアで判定する。
- TOEIC® L&R/TOEIC® S&W については、TOEIC® S&W のスコアを2.5倍に換算して合計したスコアで判定する。
- TOEIC® IP テストのスコアは対象外とする。
- IELTS Online は対象外とする。

4. 研究指導希望教員の確認

入学後に計画している研究テーマと研究指導希望教員の研究分野の一致を出願前に確認することを推奨します（本学の学部生又は修士課程学生で研究指導希望教員に直接確認をしている等、研究分野の一致が明らかである場合を除く）。

出願前に確認する場合は、時間に余裕をもって教務センター（大学院係）へ連絡してください。なお、研究指導希望教員に対して、入学試験対策等の具体的なアドバイスを求めることは控えてください。

5. 選考方法

修士課程

日本語日本文学専攻／歴史文化専攻／法・政治学専攻（法学領域）／経済・経営学専攻

①一般選抜・社会人選抜・留学生選抜・税理士選抜

試験当日の筆記試験及び口頭試問の配点合計の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。なお筆記試験免除者は、当該筆記試験科目の得点を満点とします。

②卒業生特別選抜

口頭試問の配点の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学の成績証明書、研究計画書及び志望理由書等）は、口頭試問の評価に含みます。

言語文化専攻

①一般選抜・社会人選抜・留学生選抜

試験当日の筆記試験及び口頭試問の配点合計の7割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。なお筆記試験免除者は、当該筆記試験科目の得点を満点とします。

②卒業生特別選抜

口頭試問の配点の7割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学の成績証明書、研究計画書及び志望理由書等）は、口頭試問の評価に含まれます。

法・政治学専攻（政治学領域）

①一般選抜・社会人選抜・留学生選抜

事前課題及び口頭試問の配点合計の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

②卒業生特別選抜

口頭試問の配点の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学の成績証明書、研究計画書及び志望理由書等）は、口頭試問の評価に含まれます。

博士後期課程

人文科学専攻（日本語日本文学領域／歴史文化領域）

①一般選抜

試験当日の筆記試験及び口頭試問の配点合計の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

②修了生特別選抜

口頭試問の配点の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学院の成績証明書、研究計画書、志望理由書及び修士論文又はこれに代わる業績等）は、口頭試問の評価に含まれます。

人文科学専攻（言語文化領域）

①一般選抜

試験当日の筆記試験及び口頭試問の配点合計の7割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

②修了生特別選抜

口頭試問の配点の7割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学院の成績証明書、研究計画書、志望理由書及び修士論文又はこれに代わる業績等）は、口頭試問の評価に含まれます。

社会科学専攻（法学領域）

①一般選抜

試験当日の筆記試験及び口頭試問の配点合計の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

②修了生特別選抜

口頭試問の配点の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学院の成績証明書、研究計画書、志望理由書及び修士論文又はこれに代わる業績等）は、口頭試問の評価に含まれます。

社会科学専攻（政治学領域）

①一般選抜

事前課題及び口頭試問の配点合計の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

②修了生特別選抜

口頭試問の配点の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学院の成績証明書、研究計画書、志望理由書及び修士論文又はこれに代わる業績等）は、口頭試問の評価に含まれます。

社会科学専攻（経済学領域／経営学領域）

一般選抜・修了生特別選抜

口頭試問の配点の6割を合格最低基準点として、得点上位者を選抜します。

全選抜方式共通

出願書類（出身大学院の成績証明書、研究計画書、志望理由書及び修士論文又はこれに代わる業績等）は、口頭試問の評価に含まれます。

6. 試験科目・時間・配点等

修士課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点
日本語日本文学	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 ・日本語学基礎（日本語学に関する基礎的な知識を問う） ・志望専門分野 ・志望専門分野以外 ※すべて必答。志望専門分野及び志望専門分野以外については、以下から各1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、その分野を受験すること（出願後の変更は不可）。ただし、⑥比較文学（日中）、⑩広告論を志望専門分野に選択することはできない。 ①上代 ②中古 ③中世 ④近世 ⑤近代 ⑥比較文学（日中） ⑦書学 ⑧出版論 ⑨図書館学 ⑩広告論 ⑪日本語史（古代） ⑫日本語史（近代） ⑬現代日本語（文章・談話） ⑭現代日本語（方言） ⑮日本語教育	100
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	100
	社会人	10:00 ～ 12:00	専門科目 ・論述（日本語及び日本文学に関する基礎的な知識を問う） ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、その分野を受験すること（出願後の変更は不可）。ただし、⑥比較文学（日中）、⑩広告論を志望専門分野に選択することはできない。	100
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。	100
	留学生	10:00 ～ 12:00	専門科目 ・論述（日本語及び日本文学に関する基礎的な知識を問う） ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、その分野を受験すること（出願後の変更は不可）。ただし、⑥比較文学（日中）、⑩広告論を志望専門分野に選択することはできない。	100
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。	100
	卒業生特別	13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	100

*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点								
言語文化	一般	10:00 ～ 11:30	外国語 <ul style="list-style-type: none"> 英語、ドイツ語、フランス語、中国語の中から母語を除く1言語を出願時に選択（志願書に記入）し、その言語を受験すること（出願後の変更は不可）。 受験言語を日本語に訳す辞典（例：英和辞典、独和辞典等）1冊の持込み可（電子辞書及びこれに類する機器の持込みは不可）。 下表に示す外部試験のスコアの内いずれかを有する者は、外国語の試験を免除する。 <table border="1"> <tr> <td>英語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● TOEFL iBT70点以上（PBT又はITP Level1の場合は523点以上） ● IELTS（アカデミック・モジュール）6.0以上 ● TOEIC L&R 700点以上 ● 実用英語技能検定準1級以上 </td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● ドイツ語技能検定試験（独検）2級以上 ● ゲーテ・ドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat）B2以上 </td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 実用フランス語技能検定試験（仏検）2級以上 ● DELF B2以上 </td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● HSK 4級以上 ● 中国語検定試験（中検）2級以上 </td> </tr> </table>	英語	<ul style="list-style-type: none"> ● TOEFL iBT70点以上（PBT又はITP Level1の場合は523点以上） ● IELTS（アカデミック・モジュール）6.0以上 ● TOEIC L&R 700点以上 ● 実用英語技能検定準1級以上 	ドイツ語	<ul style="list-style-type: none"> ● ドイツ語技能検定試験（独検）2級以上 ● ゲーテ・ドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat）B2以上 	フランス語	<ul style="list-style-type: none"> ● 実用フランス語技能検定試験（仏検）2級以上 ● DELF B2以上 	中国語	<ul style="list-style-type: none"> ● HSK 4級以上 ● 中国語検定試験（中検）2級以上 	100
		英語	<ul style="list-style-type: none"> ● TOEFL iBT70点以上（PBT又はITP Level1の場合は523点以上） ● IELTS（アカデミック・モジュール）6.0以上 ● TOEIC L&R 700点以上 ● 実用英語技能検定準1級以上 									
	ドイツ語	<ul style="list-style-type: none"> ● ドイツ語技能検定試験（独検）2級以上 ● ゲーテ・ドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat）B2以上 										
	フランス語	<ul style="list-style-type: none"> ● 実用フランス語技能検定試験（仏検）2級以上 ● DELF B2以上 										
	中国語	<ul style="list-style-type: none"> ● HSK 4級以上 ● 中国語検定試験（中検）2級以上 										
	13:30*～	口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> 主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。 	200									
	社会人	10:00 ～ 11:30	外国語 <ul style="list-style-type: none"> 英語、ドイツ語、フランス語、中国語の中から母語を除く1言語を出願時に選択（志願書に記入）し、その言語を受験すること（出願後の変更は不可）。 受験言語を日本語に訳す辞典（例：英和辞典、独和辞典等）1冊の持込み可（電子辞書及びこれに類する機器の持込みは不可）。 一般選抜の欄に記載する外部試験のスコアの内いずれかを有する者は、外国語の試験を免除する。 	100								
		13:30*～	口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> 主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき、これまでの経歴及び学修歴を加味して行う。 	200								
留学生	10:00 ～ 11:30	外国語 <ul style="list-style-type: none"> 英語、ドイツ語、フランス語、中国語の中から母語を除く1言語を出願時に選択（志願書に記入）し、その言語を受験すること（出願後の変更は不可）。 受験言語を日本語に訳す辞典（例：英和辞典、独和辞典等）1冊の持込み可（電子辞書及びこれに類する機器の持込みは不可）。 一般選抜の欄に記載する外部試験のスコアの内いずれかを有する者は、外国語の試験を免除する。 	100									
	13:30*～	口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> 主として志望理由書及び研究計画書に基づき、これまでの学修歴を加味して行う。 	200									
卒業生特別	13:30*～	口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> 主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。 	200									

*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点
歴史文化	一般	10:00 ～ 11:30	専門科目 ・志望専門分野 ・志望専門分野以外 ※すべて必答。志望専門分野及び志望専門分野以外については、以下から各1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ①古代史 ②中世史 ③戦国・織豊期 ④近世史 ⑤近現代史 ⑥思想史 ⑦民俗学	150
		13:00 ～ 14:00	古文書（くずし字）読解 ・くずし字辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。	50
		14:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	100
	社会人	10:00 ～ 11:00	専門科目 ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。	100
		13:00 ～ 14:00	古文書（くずし字）読解 ・くずし字辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。	50
		14:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。	100
	留学生	10:00 ～ 11:00	専門科目 ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。	100
		13:00 ～ 14:00	古文書（くずし字）読解 ・くずし字辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。	50
		14:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。	100
	卒業生特別	14:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	100

*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点	
法・政治学	一般	10:00 ～ 11:30	専門科目 【法学領域志願者】 ・志望専門分野 ・志望専門分野以外 ※すべて必答。志望専門分野及び志望専門分野以外については、以下から各1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ①憲法 ②行政法 ③民法 ④刑法 ⑤刑事政策 ⑥企業法 ⑦労働法 ⑧国際法 ⑨法哲学 ⑩法史学 ⑪知的財産法 ⑫ジェンダーと法 ※判例の記載のない「六法」（六法全書）のみ持込み可。	200	
		試験当日の筆記試験は行わない	専門科目 【政治学領域志願者】 ・以下に示す事前課題を得点化する。 〈事前課題〉 あなたが提案する研究計画に関連して、以下の問1と問2に答える小論文を4,000字程度で作成すること。 問1 その研究が属する研究分野（国際関係論、行政学、政治学、公共政策、国際開発学等）ではどのような議論が最近行われているか、資料を引用しながら論ぜよ。 問2 問1の議論においてあなたが提案する研究はどのように位置づけられるか、また、学問的あるいは社会的にどのような貢献が期待できるか示せ。 内容に見合う適切なタイトルを付けること。引用したすべての資料の書誌情報をリストにして示すこと。ただし、書誌情報は文字数制限に含まない。		
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。		100
	社会人	試験当日の筆記試験は行わない	10:00 ～ 11:30	専門科目 【法学領域志願者】 ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ※リーガルマインド及び論理的思考力を問う。 ※判例の記載のない「六法」（六法全書）のみ持込み可。	100
			試験当日の筆記試験は行わない	専門科目 【政治学領域志願者】 ・以下に示す事前課題を得点化する。 〈事前課題〉 あなたが提案する研究計画に関連して、小論文を2,000字程度で作成すること。小論文では、あなたが計画する研究の重要性を説明し、それが学問的あるいは社会的にどのような貢献ができるか示すこと。 内容に見合う適切なタイトルを付けること。必要に応じて資料を引用し、引用したすべての資料の書誌情報をリストにして示すこと。ただし、書誌情報は文字数制限に含まない。	
			13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。	

*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点
法・政治学	留学生	10:00 ～ 11:30	専門科目 【法学領域志願者】 ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ※リーガルマインド、論理的思考力及び日本語能力を問う。 ※判例の記載のない「六法」（六法全書）のみ持込み可。	100
		試験当日の筆記試験は行わない	専門科目 【政治学領域志願者】 ・以下に示す事前課題を得点化する。 〈事前課題〉 あなたが提案する研究計画に関連して、小論文を2,000字程度で作成すること。小論文では、あなたが計画する研究の重要性を説明し、それが学問的あるいは社会的にどのような貢献ができるか示すこと。 内容に見合う適切なタイトルを付けること。必要に応じて資料を引用し、引用したすべての資料の書誌情報をリストにして示すこと。ただし、書誌情報は文字数制限に含まない。	
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。	
	卒業生特別	13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	100
	税理士	10:00 ～ 11:30	専門科目（租税法に関する小論文） ・租税法基礎（1問）を必須とし、法人税法（2問）及び所得税法（2問）の計4問から2問を試験当日に選択する。 ・解答は論述形式（小論文）とする。 ※税理士試験科目（税法に属する科目又は会計学に属する科目）のうち、1科目以上合格している者は「専門科目（租税法に関する小論文）」の試験を免除する。	100
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	
経済・経営学	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 ・専門外書読解 ・専門基礎 ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、研究指導希望教員の専門分野（P.35～36に記載する教員組織参照）を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ※英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）	200
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	
	社会人	10:00 ～ 11:30	専門科目 ・専門基礎 ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、研究指導希望教員の専門分野（P.35～36に記載する教員組織参照）を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。	100
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。	

*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目	配点
経済・経営学	留学生	10:00 ～ 11:30	専門科目 ・専門基礎 ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、研究指導希望教員の専門分野（P.35～36に記載する教員組織参照）を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。	100
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。	100
	卒業生特別	13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	100
	税理士	10:00 ～ 11:30	専門科目 ・会計学から2問出題する。 ※税理士試験科目（税法に属する科目又は会計学に属する科目）のうち、1科目以上合格している者は専門科目の試験を免除する。	100
		13:30*～	口頭試問 ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	100

*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専攻 (領域)	試験区分	試験時間	試験科目	配点								
人文科学 (日本語日本文学)	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 ・志望専門分野 ※以下から1分野を出願時に選択(志願書に記入)し、その分野を受験すること(出願後の変更は不可)。 ①日本文学 ②日本語学 ③日本語文化	100								
		受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績(提出論文等)に基づき行う。	100								
	修了生特別	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績(提出論文等)に基づき行う。	100								
人文科学 (言語文化)	一般	10:00 ～ 12:00	外国語 ・研究指導希望教員が指定する外国語(別紙参照)から1言語選択(志願書に記入)し、その言語を受験すること(出願後の変更は不可)。 ・受験言語を日本語に訳す辞典(例:英和辞典、独和辞典等)持込可(電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可)。 ・下表に示す外部試験のスコアの内のいずれかを有する者は、外国語の試験を免除する。 <table border="1" data-bbox="655 857 1265 1344"> <tr> <td>英語</td> <td>● TOEFL iBT70点以上(PBT又はITP Level1の場合は523点以上) ● IELTS (アカデミック・モジュール) 6.0以上 ● TOEIC L&R 700点以上 ● 実用英語技能検定準1級以上</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td>● ドイツ語技能検定試験(独検) 2級以上 ● ゲーテ・ドイツ語検定試験(Goethe-Zertifikat) B2以上</td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td>● 実用フランス語技能検定試験(仏検) 2級以上 ● DELF B2以上</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>● HSK 4級以上 ● 中国語検定試験(中検) 2級以上</td> </tr> </table>	英語	● TOEFL iBT70点以上(PBT又はITP Level1の場合は523点以上) ● IELTS (アカデミック・モジュール) 6.0以上 ● TOEIC L&R 700点以上 ● 実用英語技能検定準1級以上	ドイツ語	● ドイツ語技能検定試験(独検) 2級以上 ● ゲーテ・ドイツ語検定試験(Goethe-Zertifikat) B2以上	フランス語	● 実用フランス語技能検定試験(仏検) 2級以上 ● DELF B2以上	中国語	● HSK 4級以上 ● 中国語検定試験(中検) 2級以上	100
		英語	● TOEFL iBT70点以上(PBT又はITP Level1の場合は523点以上) ● IELTS (アカデミック・モジュール) 6.0以上 ● TOEIC L&R 700点以上 ● 実用英語技能検定準1級以上									
	ドイツ語	● ドイツ語技能検定試験(独検) 2級以上 ● ゲーテ・ドイツ語検定試験(Goethe-Zertifikat) B2以上										
	フランス語	● 実用フランス語技能検定試験(仏検) 2級以上 ● DELF B2以上										
中国語	● HSK 4級以上 ● 中国語検定試験(中検) 2級以上											
受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績(提出論文等)に基づき行う。	200										
修了生特別	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績(提出論文等)に基づき行う。	200									
人文科学 (歴史文化)	一般	10:00 ～ 12:00	専門科目 ・志望専門分野 ※以下から1分野を出願時に選択(志願書に記入)し、その分野を受験すること(出願後の変更は不可)。 ①戦国・織豊期 ②日本近世史 ③日本近現代史 ④日本思想史	100								
		受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績(提出論文等)に基づき行う。	100								
	修了生特別	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績(提出論文等)に基づき行う。	100								

専攻 (領域)	試験区分	試験時間	試験科目	配点
社会科学 (法学)	一般	10:00 ～ 12:00	外国語 ・英語、ドイツ語、フランス語、中国語の中から母語を除く1言語を出願時に選択（志願書に記入）し、その言語を受験すること（出願後の変更は不可）。 ・受験言語を日本語に訳す辞典（例：英和辞典、独和辞典等）持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。 専門科目 ・志望専門分野 ※以下から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、その分野を受験すること（出願後の変更は不可）。 ①憲法 ②行政法 ③民法 ④刑法 ⑤刑事政策 ⑥企業法 ⑦労働法 ⑧国際法 ⑨法哲学 ⑩法史学 ⑪知的財産法 ※判例の記載のない「六法」（六法全書）のみ持込可。	200
		受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。	200
	修了生特別	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。	200
社会科学 (政治学)	一般	試験当日の筆記試験は実施しない	専門科目 ・以下に示す事前課題を得点化する。 〈事前課題〉 あなたが提案する研究計画に関連して、以下の問1と問2に答える小論文を10,000字程度で作成すること。 問1 その研究が属する研究分野（国際関係論、行政学、政治学、公共政策、国際開発学等）ではどのような議論が最近おこなわれているか、資料を引用しながら論ぜよ。 問2 問1の議論においてあなたが提案する研究はどのように位置づけられるか、また、学問的あるいは社会的にどのような貢献が期待できるか示せ。 内容に見合う適切なタイトルを付けること。引用したすべての資料の書誌情報をリストにして示すこと。ただし、書誌情報は文字数制限に含まない。	200
		受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。 ※出願資格である英語検定試験のスコア取得から3年以上経過している場合は、口頭試問時に英語運用能力を測る。	100
	修了生特別	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として志望理由書、研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。 ※出願資格である英語検定試験のスコア取得から3年以上経過している場合は、口頭試問時に英語運用能力を測る。	100
社会科学 (経済学)	一般	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。	100
	修了生特別	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。	100
社会科学 (経営学)	一般	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。	100
	修了生特別	受験票発送時に開始時刻を通知	口頭試問 ・主として研究計画書及び研究業績（提出論文等）に基づき行う。	100

7. 試験当日集合場所・時間

集合場所：名古屋キャンパス5号館1階エントランスホール

※名古屋キャンパス5号館の位置は、本学公式ホームページに掲載している「名古屋キャンパスマップ」を参照すること。

集合時間：下表の通り（専攻、領域及び試験区分により異なる）

修士課程

専攻	試験区分					
	一般選抜	社会人選抜	留学生選抜	卒業生特別選抜	税理士選抜	
日本語日本文学	9:30			13:00		
言語文化	9:30 ^{※1}			13:00		
歴史文化	9:30			14:00		
法・政治学	【法学領域志願者】 9:30		【政治学領域志願者】 13:00		13:00	9:30 ^{※2}
経済・経営学	9:30			13:00	9:30 ^{※2}	

※1 …外国語試験免除者は13:00集合

※2 …専門科目試験免除者は13:00集合

博士後期課程

専攻 (領域)	試験区分	
	一般選抜	修了生特別選抜
人文科学 (日本語日本文学)	9:30	受験票発送時に集合時間を通知
人文科学 (言語文化)	9:30 ^{※1}	受験票発送時に集合時間を通知
人文科学 (歴史文化)	9:30	受験票発送時に集合時間を通知
社会科学 (法学)	9:30	受験票発送時に集合時間を通知
社会科学 (政治学)	受験票発送時に集合時間を通知	
社会科学 (経済学)	受験票発送時に集合時間を通知	
社会科学 (経営学)	受験票発送時に集合時間を通知	

※1 …外国語試験免除者は受験票発送時に集合時間を通知

II 出願書類・出願方法等

1. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②英語以外の外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳又は英語訳を添付してください。
- ③所定用紙以外の書式自由の書類はA4判サイズ用紙で作成してください。
- ④出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に切手（通常はがき+速達料金分）を貼付し、必要事項を記入すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、P.26を参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末一人社・修士・志願書を使用すること。 ・表面の「選択言語・分野等」欄は、出願する専攻・試験区分についてP.14～19に記載する事項を参照して記入すること。自身の該当しない欄については記入不要。 例) 法・政治学専攻（政治学領域）を志願する者は、試験当日の筆記試験を課さないため記入不要。 ・裏面の履歴欄は、該当する履歴についてもれなく記入すること（該当する履歴がない場合は記入不要）。 ・裏面の「学位」欄は、取得学位（見込みを含む）を正確に記入すること。 例) 学士（文学）、修士（経済学）等 ・外国人留学生は、裏面の「日本語の学力」欄に出願資格の根拠となる日本語の学力を記入すること。 ・法・政治学専攻（政治学領域）志願者で英語検定試験のスコアが出願資格となっている者（P.8～9参照）は、裏面の「英語の学力」欄に出願資格の根拠となる英語の学力を記入すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末一人社・博士・志願書を使用すること。 ・表面の「選択言語・分野等」欄は、出願する専攻・試験区分についてP.20～21に記載する事項を参照して記入すること。自身の該当しない欄については記入不要。 例) 社会科学専攻（政治学領域）を志願する者は、試験当日の筆記試験を課さないため記入不要。 ・裏面の履歴欄は、該当する履歴についてもれなく記入すること（該当する履歴がない場合は記入不要）。 ・裏面の「学位」欄は、取得学位（見込みを含む）を正確に記入すること。 例) 修士（経済学）等 ・外国人留学生は、裏面の「日本語の学力」欄に出願資格の根拠となる日本語の学力を記入すること。 ・社会科学専攻（政治学領域・経済学領域・経営学領域）志願者で英語検定試験のスコアが出願資格となっている者（P.10～11参照）は、裏面の「英語の学力」欄に出願資格の根拠となる英語の学力を記入すること。
卒業証明書 (見込みを含む)	<p>〈修士課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者（見込みを含む）は、上記に代わりP.26～27に記載された書類を提出すること。 ※大学院を修了した者（見込みを含む）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 (見込みを含む)	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者（見込みを含む）は、上記に代わりP.26～27に記載された書類を提出すること。
成績証明書	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者（見込みを含む）は、上記に代わりP.25～26に記載された書類を提出すること。 ※大学院を修了した者（見込みを含む）は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学院作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業/修了した者（見込みを含む）は、上記に代わりP.26～27に記載された書類を提出すること。

書類名称	詳細
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・書式自由（文字サイズ10.5pt以上で作成すること）。 ・先頭に「志望理由書」「氏名」を記入すること。 ・当大学院を志望する理由について、1,000字（人文科学専攻（歴史文化領域）志願者は2,000字）程度で記入すること。具体的には次の内容を含むこと。 <ul style="list-style-type: none"> ① どのようなテーマで勉学・研究したいのか ② そう考えた背景や理由は何か ③ 志望書に記述した研究指導希望教員を選択した理由は何か
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・書式自由（文字サイズ10.5pt以上で作成すること）。 ・先頭に「研究計画書」「氏名」を記入すること。 ・「志望理由書」で述べた研究テーマについて、どう取り組んでいきたいかを修士課程志願者は1,500字程度、博士後期課程志願者は2,000字（社会科学専攻（経済学領域及び経営学領域）志願者は1,500字）以上（いずれも引用文献リストは除く）で記入すること。 ・具体的には次の内容を含むこと。ただし、★マークの項目は歴史文化専攻及び人文科学専攻（歴史文化領域）のみ必須とし、その他の専攻（領域）は必須としない。また、言語文化専攻、法・政治学専攻（政治学領域）、人文科学専攻（言語文化領域）及び社会科学専攻（政治学領域）の志願者は④⑤を不要とする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 研究テーマ ② 研究の目的、背景 ③ 研究の対象と方法★ ④ 研究により期待される効果・成果 可能な限り、学術的にどのような新しい知見をもたらすのか、社会にどのように役立つと考えられるか等の視点から記述すること。 ⑤ 研究の計画（スケジュール） <ul style="list-style-type: none"> ※ 図や表を含めて記述してもよい。 ※ 修士課程志願者で、社会人対象の短期履修制度（法・政治学専攻）を希望する者は、1年で修了する計画を記述すること。 ※ 修士課程志願者で、長期履修制度を希望する者は、3年で修了する計画を記述すること。
修士論文又はこれに代わる業績等	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <p>以下の①②を提出すること。③は該当するものがあれば提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 修士論文又はこれに代わる業績（作成途中のものでも可とする） ② 上記①の要旨（書式自由、2,000字～4,000字） ③ 学術雑誌・紀要・学会発表論文集等に掲載された業績 <ul style="list-style-type: none"> ※ 上記①～③いずれもコピー可。返却はしない。 ※ 上記①～③には「氏名」を記入すること。 ※ 日本語以外の言語によって作成された論文を提出する場合は、日本語による論文要旨（書式自由、2,000字～4,000字）を併せて提出すること。
職歴・活動状況報告書	<p>〈修士課程社会人選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式自由（文字サイズ10.5pt以上で作成すること）。 ・先頭に「職歴・活動状況報告書」「氏名」を記入すること。 ・1,000字程度で記入すること。 ・具体的には次の内容を含むこと。ただし、業績や経験は職業ではなくボランティアやその他の社会活動でもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ① これまでに社会人として残してきた業績、経験 ② 上記を大学院での勉学や研究にどう活かすか（活かしたいか） <p>※ 志望理由書や研究計画書で述べた内容と関連させて記入することが望ましい。</p>
外国語外部試験スコア	<p>〈言語文化専攻志願者で外国語試験免除を希望する者のみ〉</p> <p>〈人文科学専攻（言語文化領域）志願者で外国語試験免除を希望する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語外部試験の成績証明書、スコアレポート等のコピーを提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ※ TOEIC®スコアに関して、公式認定証がない場合はデジタル公式認定証を印刷して提出すること。 <p>〈法・政治学専攻（政治学領域）志願者（ただし、社会人選抜及び卒業生特別選抜志願者で日本政治・公共政策分野を専攻する者を除く）〉</p> <p>〈社会科学専攻（政治学領域）志願者〉</p> <p>〈社会科学専攻（経済学領域）（経営学領域）の一般選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語外部試験の成績証明書、スコアレポート等のコピーを提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 英語を教授言語とする大学・大学院を卒業・修了した者（見込みを含む）及び母語が英語である者は不要。 ※ TOEIC®スコアに関して、公式認定証がない場合はデジタル公式認定証を印刷して提出すること。
税理士試験科目の合格を証明する書類	<p>〈法・政治学専攻（法学領域）又は経済・経営学専攻（経営学領域）の税理士選抜志願者のうち、税理士試験で1科目以上合格しており専門科目試験の免除を希望する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士試験科目の合格を証明することができる書類のコピーを提出すること。

書類名称	詳細
事前課題	〈法・政治学専攻（政治学領域）志願者のうち、一般選抜・社会人選抜・留学生選抜志願者のみ〉 〈社会科学専攻（政治学領域）志願者のうち、一般選抜志願者のみ〉 ・事前課題 ※事前課題に関する詳細は、P.17~18、21を参照すること。
戸籍抄本等	〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉 ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。
長期履修許可願 【所定様式】	〈修士課程志願者で長期履修制度の適用を希望する者のみ〉 ・所定様式を中京大学教務センター（大学院係）から取り寄せること。 ※長期履修制度に関する詳細は P.30を参照すること。
短期履修許可願 【所定様式】	〈法・政治学専攻で社会人短期履修制度の適用を希望する者のみ〉 ・所定様式を中京大学教務センター（大学院係）から取り寄せること。 ※社会人短期履修制度に関する詳細は P.30を参照すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	・出願資格の根拠となる書類を提出すること。 例) 日本語能力試験の「合否結果通知」又は「認定結果及び成績に関する証明書」（コピー）、日本留学試験の「成績通知書」（コピー）、大学や大学院の学位授与証明書、成績証明書 等 ※コピーを提出する場合、証明する書類の原本をA4判サイズ用紙にコピーして、氏名（カタカナ表記）と出願する研究科・専攻名を右上に記入すること。 ※日本留学試験の成績は、中京大学が日本学生支援機構から直接入手する。
住民票又は 在留カード	〈日本国内に在住する者のみ〉 ・住民票の場合は、国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されていることを確認し、出願前3か月以内に発行されたもの（原本）を提出すること。 ・在留カードの場合は、表面と裏面をA4判サイズ用紙にコピーして提出すること。 ※入学までに在留期間の更新や「留学」への在留資格変更が必要な者は、出願期間開始前に出入国在留管理局に更新や変更条件、必要な申請書類、帰国の要否等を問い合わせ、入学までに行うべきことを自ら確認すること。
経費支弁書 【巻末書類】	・巻末－経費支弁書 を使用すること。 ・「経費支弁書」に必要事項を記入し、以下預金残高証明書と併せて提出すること。 ・志願者本人が経費支弁者になることは認めないので注意すること。 ・経費支弁者が複数人いる場合は、経費支弁書をコピーして使用し、複数枚提出すること。 ・「経費支弁者署名」欄以外において、経費支弁者が日本語又は英語どちらも堪能でない場合に限り、経費支弁者に代わり、申請者（志願者）自身が必要事項を記入することを認める。 ・「経費支弁者署名」欄については、必ず経費支弁者本人が記入すること。 ※経費支弁者が海外に居住している場合は、資料を郵送して記入を依頼すること。このとき、出願締切日に注意すること。
預金残高証明書	・経費支弁者名義の預金残高証明書（金融機関発行の原本）を提出すること。 ※各国政府・中央銀行等において認められた銀行の口座であること。 ※預金者・預金証書番号及び預金額が確認できるものであること。 ※残高として必要な金額：200万円以上 ※3か月以内に発行されたものであること。 ・日本語又は英語以外の場合、公的機関等（日本語学校を含む）の証明を受けた日本語訳又は英語訳を添付すること。 ・「残高証明書のコピー」「保険の証明書」「ネットバンキングにおける利用明細のプリントアウト」等は認めないので注意すること。 ・必ず金融機関で残高証明書原本（公印あり）を取得すること。 ・経費支弁者が複数人いる場合は、預金残高証明書をそれぞれ提出すること。
パスポートのコピー	・顔写真のページのコピーを提出すること。
学歴認証に 関する証明書 【巻末書類】	〈中国の教育機関（大学や大学院）を卒業／修了した者（含見込）のみ〉 ・P.26~27に記載された証明書を各発行機関から取り寄せること。 ・巻末－学歴認証表紙 をつけること。また、巻末－学歴認証表紙 には、提出する書類にチェックし、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する第三者閲覧用コード（Online Verification Code）をもれなく記入すること。

2. 出願方法・出願上の注意事項

(1) 出願方法

【郵送・窓口持参共通事項】

- ① 所定の封筒に必要事項を記入し、出願書類を入れてください。
- ② 論文等が大きく、所定の封筒に入らない場合は、所定の封筒の表面を切り取り、出願書類が入る大きさの任意の封筒に貼付してください。
- ③ 出願書類に不備がある場合は出願を受け付けません。

【出願書類を郵送する場合】

- ・ 出願期間最終日の消印有効とします。
- ・ 「速達の簡易書留郵便」で送付してください。

【出願書類を大学窓口に持参する場合】

- ・ 名古屋キャンパスの教務センター（大学院係）窓口（以下）で出願を受け付けます。

名古屋キャンパス：名古屋市昭和区八事本町101-2 5号館1階

※受付時間は平日の9：00～17：00です。時間外の受付はできませんので注意してください。

(2) 検定料

- ① 入学検定料は同封の検定料払込用紙を用いて、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にて払い込んでください。なお、金額を記入する欄は下表を参照の上、正しく記入してください。

出願する課程	対象者	検定料
修士課程	中京大学の学部 ¹ に在籍する者及び卒業した者	10,000円
	中京大学 ² 以外の大学の学部 ¹ に在籍する者及び卒業した者	35,000円
博士後期課程	全ての者	35,000円

- ② 「振替払込受付証明書（願書貼付用）」は、ゆうちょ銀行又は郵便局の日附印を確認の上、**検定料払込票の所定欄に貼付**してください。
- ③ 現金や為替を封入したり、他の金融機関での振込、及びATMによる振込は受け付けることができません。
- ④ 振込手数料は本人負担となります。払い込まれた入学検定料は返還できませんのでご了承ください。
- ⑤ 「振替払込請求書兼受領証」は大学発行の領収書とみなしますので、大切に保管してください。
- ⑥ 払込用紙裏面の収入印紙については貼付する必要はありません。
- ⑦ 入学検定料納入期間は、出願開始日の一週間前から、出願締切日までです。

(3) 研究指導教員の決定

志願書の「研究指導希望教員名」欄に、希望する研究指導教員名を記入してください。希望する研究指導教員を決定するにあたっては、大学院入学試験要項（本冊子）P.33以降の「教員組織」を必ず確認してください（教員の専門分野の詳細は、中京大学大学院人文社会科学研究所案内パンフレット（別冊子）各専攻ページ、中京大学公式ホームページ掲載情報を参考にしてください）。

また、出願前に研究分野の一致確認をすることを推奨します（本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「4. 研究指導希望教員の確認」参照）。

ただし、研究指導教員は、入学後の研究希望内容に基づき研究科が決定しますので、必ずしも志願書に記入された希望教員に決定するとは限りません。また、入学後に、研究指導教員の休職や退職、研究内容の変更等のやむを得ない事由が生じた場合は、研究指導教員を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

(4) 修学及び受験に際して特別な配慮を要する方へ

中京大学では、障がい等により、受験及び修学に際して配慮を希望する方からの相談を随時受け付けています。なお、相談の内容によっては、出願前に志願者本人（及び保護者）に面談を依頼することがありますので予めご了承ください。

※この面談は、受験上及び修学上の配慮について確認するものであり、合否判定等とは一切関係ありません。

出願の検討段階でも構いませんので、出願前に時間に余裕をもって教務センター（大学院係）まで申し出てください。特に、受験に際しての配慮を希望される方は、出願開始の4週間前までに必ず連絡してください。

(5) 中国の教育機関を卒業／修了した方へ（含見込）

中国の教育機関（大学・大学院）を卒業／修了した方（含見込）は、以下の（Ⅰ）、（Ⅱ）に関する証明書を提出してください。

【中国高等教育学生信息网（CHSI）の利用方法について】

CHSIのWebサイトに登録し、該当書類をPDFファイルで入手後、A4判サイズの下紙に印刷してください。

中国高等教育学生信息网（CHSI） <https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>

なお、第三者（大学）がCHSIのWeb認証を閲覧できるよう、閲覧用のコード（Online Verification Code）を提出書類の「学歴認証表紙」の指定欄に記入してください。また、提出時点でWeb認証の有効期限が20日以上残っていることを確認してください。

【CHSI日本代理機構の利用方法について】

CHSI日本代理機構のWebサイトより、該当書類の申請方法を確認し、機構から受け取った証明書を提出してください。

CHSI日本代理機構 <http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>

【証明書の翻訳について】

中国語で作成された証明書には、その証明書の原本に加えて、日本語又は英語による翻訳の提出が必要です。

(I) 卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

出身大学／大学院が発行する証明書の代わりに、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する以下の書類①、②の両方を提出してください。

〈大学又は大学院を卒業／修了した者〉

①「中国高等教育学位在线验证报告」の写し

②「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」の写し（上記①の英語版）

〈大学又は大学院に在学中の者〉

①「教育部学籍在线验证报告」の写し

②「Online Verification Report of Student Record」の写し（上記①の英語版）

※大学又は大学院に在学中の者は、大学を卒業後（又は大学院を修了後）すみやかにCHSIに申請をし、取得した書類を教務センター（大学院係）に送付してください。

(II) 成績（見込）証明書

以下①～③のいずれかの証明書を提出してください。

①最終出身大学が発行した成績証明書の原本（日本語又は英語で作成されたもの）

②中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行した「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」の写し

③ CHSI 日本代理機構が発行した「成績認証報告書」の原本（英語で作成されたもので、日本代理機構から郵送あるいはデータ送付されたもの）

(6) 外国人留学生の受入に係る安全保障輸出管理

中京大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づき、安全保障輸出管理の観点から規程を定めており、これに沿って外国人留学生の受入の審査を行っています。

その審査結果によっては希望する教育が受けられない・研究ができない場合がありますので、予めご了解ください。

Ⅲ 受験・合格発表・入学手続等

1. 受験票の受取り

- ① 受験票は出願期間締切後、随時郵送します。
- ② 受験票が試験日の3日前になっても届かない場合は、教務センター（大学院係）TEL（052）835-9863へ連絡してください。
- ③ 受験票を紛失した場合や忘れた場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出て、「仮受験票発行」の手続をとってください。

2. 試験当日の注意事項（持ち物含む）

(1) 持参するもの

- ① 受験票 ● 受験票を紛失した・忘れた場合、又は出発時までに受験票が届かなかった場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出てください。
 - ② 筆記用具 ● HB の黒鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック消しゴム
※下敷き、定規、コンパス等の使用は認めません。
 - ③ 時計 ● 試験会場（試験室）には時計がありません。
● 時計以外の機能が付いたものの使用は認めません（タイマー、スマートウォッチや大型時計の使用も認めません）。また、携帯電話（スマートフォン含む）を時計として使用することもできません。
- ※辞典・辞書等の持込みについては、本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「6. 試験科目・時間・配点等」を参照してください。

(2) 試験室への案内

- ① 試験開始30分前までに、本冊子に記載する集合場所に集合してください。なお、試験室への案内は、掲示・大学院入試担当係員の誘導などにより行います。
※集合場所は本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「7. 試験当日集合場所・時間」を参照してください。
※前日に試験室を下見することはできません。
- ② 試験の注意事項をアナウンスするため、試験開始10分前までに所定の試験室、座席に着くようにしてください。
- ③ 各試験会場内は禁煙とします。

(3) 遅刻について

私的な理由による遅刻については試験開始後20分まで入室を認めます。それ以降の遅刻は一切認めません。なお、時間延長等の特別措置はありません。公共交通機関の遅延によって試験に遅れる場合は、遅延証明書を持参してください。

(4) 自然災害、火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合の対応について

地震、台風等の自然災害や火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の措置をとることがあります（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻を変更すること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）。

予め対応を通知できる場合は、中京大学公式ホームページのトップ画面（以下）に掲載しますので、出願前や受験前に必ず確認してください。

中京大学公式ホームページ <https://www.chukyo-u.ac.jp/>

ただし、それによって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。また、試験延期の措置をとる場合（一部の受験生のための延期を含む）、可否通知発送日もそれに伴い延期することがあります。

〈受験生個人に発生した不測の事態への対応について〉

試験当日に、受験生本人に不測の事態が発生し、試験開始時刻に間に合わない場合は、中京大学教務センター（大学院係）（次ページ）まで連絡してください。不測の事態の内容等（理由を含む）を確認した上でその後の対応について案内します。

(5) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患した場合等の対応について

インフルエンザをはじめとする学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（対象となる感染症については、学校保健安全法施行規則をご確認ください）に罹患した場合又はその疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験を控えてください。また、学校保健安全法施行細則に記されていない感染症に関しても、WHO や厚生労働省等による指針等に基づく対応を取る場合があることをご確認ください。ただし、症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

上記の理由により受験ができない場合は、それが判明次第すみやかに（遅くとも入学試験当日の午前9時までに）中京大学教務センター（大学院係）（以下）まで連絡してください。

中京大学教務センター（大学院係）： TEL (052)835-9863（直通）

3. 合格発表（合否通知発送）

①合否通知発送日（本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「2. 入試日程」参照）に合否通知を発送します。

②合格者の入学手続書類は、合格通知書とともに郵送します。

4. 入学手続

入学手続に必要な書類は、合格通知書に同封して郵送します。

入学手続は「第一次入学手続」と「最終入学手続」の二段階納入方式です。詳しくは合格通知書同封の『入学手続要項』を確認してください。

※後期日程は、二段階納入方式ではなく、第一次入学手続と最終入学手続が同一期間となります。詳細は本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「2. 入試日程」を参照してください。

5. 入学試験の成績開示

本学を受験された方の入学試験成績を、受験生本人から請求があった場合に限り開示します。開示を希望する方は、以下の要領で申し込んでください。

(1) 開示対象の試験区分と開示内容

科目別得点（評価）、総合得点、合格最低点

(2) 開示請求期間

2026年4月1日（水）～2026年5月11日（月）〈消印有効〉

(3) 開示方法

希望する宛先に入学試験成績開示書を「簡易書留郵便」で親展にて送付します（2026年6月初旬送付予定）。

(4) 申請者

受験生本人に限ります。本人確認のため入学試験受験票を申請時に提出してください。

(5) 申込み方法

①中京大学教学部教務センター（大学院係）宛に、「大学院入試成績開示請求」というタイトルでEメールを送信してください。開示手数料（500円）の納入方法についてEメールを返信して連絡します。

②上記①の後で、以下の書類等を封筒に入れ、表面に「大学院入試成績開示請求」と朱書きして、「簡易書留郵便」で教務センター（大学院係）宛に送付してください。

・入学試験成績開示請求書

「入学試験成績の開示を希望する」旨と研究科・専攻・課程、試験区分、入学時期、受験番号、氏名、フリガナ、郵便番号、住所、電話番号をA4判サイズの用紙に記入の上、捺印すること。

・開示を希望する入学試験受験票（コピー不可。入学試験成績開示書とともに返送します。）

・住民票の写し（送付先が受験票記載の住所と異なる場合）

(6) 書類の送付・問合わせ先

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学教務センター（大学院係） TEL (052)835-9863

メールアドレス gs-office@ml.chukyo-u.ac.jp

IV 学費・経済支援等

1. 学費等

※以下の内容は事情により改定することがあります。

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	年額計	入学時納付金
修士課程	200,000	505,000	200,000	905,000	552,500
博士後期課程	200,000	505,000	200,000	905,000	552,500

【補足事項】

- ①修士課程の2年次納付金並びに博士後期課程の2年次及び3年次納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
- ②「入学金」は入学時のみ納入し「授業料」、「教育充実費」は春学期・秋学期の2回に分けて納入します。ただし、入学時の春学期分については、入学時納付金に含まれます。
- ③入学後、いくつかの特定科目の履修に際して別途履修費及び実習費を徴収することがあります。
- ④入学辞退手続締切日までに入学辞退手続をした場合、入学時納付金のうち、入学金を除くその他の納付金を返還します。
- ⑤長期履修制度（後述）を利用する入学者については、標準修学期間（2年間分）の学費を、3年間で納入します。
- ⑥社会人短期履修制度（後述）を利用した場合の授業料については、別途お問い合わせください。
- ⑦日本語日本文学専攻修士課程、歴史文化専攻修士課程及び人文科学専攻博士後期課程（日本語日本文学領域及び歴史文化領域）は上記表に記載するものの他に「学会費（1,000円）」を春学期に納入します。

【長期履修制度について】

中京大学学則において、修士課程の標準修業年限は2年間と定められていますが、次のいずれかの事情により、標準修業年限内での修学が困難である場合、3年間での計画的な教育課程の履修を可能とします。長期履修制度の適用を希望する場合には、「長期履修許可願」（所定様式）を渡しますので、出願期間前に時間の余裕をもって教務センター（大学院係）に申し出てください。

- (1) 職業を有し、生計を立てるために恒常的に勤務している
- (2) 家事、育児、介護等に従事している
- (3) 心身の機能に障がいがある

※外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者）、再入学者、編入学者及び転入学者は長期履修制度の対象外です。

※長期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますのでご了承ください。なお、適用の可否については合格通知に同封します。

※この制度は学業不振などの理由により修了が延期となる者を救済するためのものではありません。

※長期履修制度を利用しても、4年を超えて在学することはできません。

【社会人短期履修制度について】（法・政治学専攻のみ）

中京大学学則において、修士課程の標準修業年限は2年間と定められていますが、「社会人としての実務経験を3年以上有している者」については標準修業年限を1年以上2年未満とすることを可能としています。社会人短期履修制度の適用を希望する場合には、「短期履修許可願」（所定様式）を渡しますので、出願期間前に時間の余裕をもって教務センター（大学院係）に申し出てください。

※税理士選抜志願者、再入学者、編入学者及び転入学者は社会人短期履修制度の対象外です。

※社会人短期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますのでご了承ください。なお、適用の可否については合格通知に同封します。

2. 経済支援等

奨学金制度は、年度ごとに変更が生じる場合があります。中京大学公式ホームページにて最新情報を確認してください。

■中京大学奨学金

大学院奨学金
大学院進学奨学金 [減免] <ul style="list-style-type: none">・中京大学卒業生が中京大学大学院博士前期課程（修士課程）に進学する場合、入学金20万円を2万円に減額。さらに、入学後第1セメスターの教育充実費を半額に減額。・中京大学博士前期課程（修士課程）学生が同一の専攻の博士後期課程に進学する場合、入学金を免除。・中京大学卒業生が、中京大学大学院博士後期課程に進学する場合、入学金を半額に減額。さらに、入学後第1セメスターの教育充実費を半額に減額。
経済支援奨学金
①教育資金融資援助奨学金 [給付] 金融機関の教育ローンを利用して学費の全部又は一部を納入している学生に対して、その教育ローンの年間利子の一部または全額を給付（年1回、教育資金融資金のうち対象となる額は200万円を上限とする）。 ②緊急支援奨学金 [給付] 学業に精励しているが、保証人（父母あるいは主たる生計維持者）の死亡・高度障害または失職（解雇・倒産）などによる家計事情で修学が困難となった学生に対して、30万円を給付（1回のみ）。 ③災害支援奨学金 [給付] 学業に精励しているが、保証人（父母あるいは主たる生計維持者）が所有する住居の火災や風水害、地震等による被害を受けた学生に対し、20万円を給付（同一事由による給付は1回のみ）。
活動支援奨学金
①学術・文化・スポーツ奨学金 [給付] 中京大学の「建学の精神」に則り、学術文化又はスポーツにおいて優秀な成績を収めている学生に対して、入学金の全額または入学金の全額と授業料（教育充実費含む）の全額もしくは半額を給付。 〈採用人数〉若干名 対象：校友会員 ②交換・認定留学給付奨学金 [給付] 所定の学力基準を満たした交換及び認定留学生に対して、奨学金（月額最大12万円×留学期間）を給付。 ※学力や留学先によって給付金額は異なります。 〈採用人数〉設定なし ③交換・認定留学学費減免 [減免] 留学期間中の中京大学学費のうち、交換留学に参加する学生に対して授業料の半額を減額（要件なし）し、認定留学に参加する学生に対しては授業料の全額を免除（要件なし）。 〈採用人数〉設定なし（交換・認定留学共通） ④セメスター留学学費減免 [減免] グローバル教育センターが主催するセメスター留学に参加する学生に対して、留学期間中の中京大学学費のうち、授業料の全額を免除（要件あり）又は半額を減額（要件なし）。 〈採用人数〉設定なし ⑤チャレンジ奨励金 [給付] 社会貢献・社会課題の解決につながることを期待され、学生のチャレンジ精神が発揮される活動を対象とし、3～100万円を給付。 〈採用人数〉設定なし

外国人留学生奨学金・学費減免

①外国人留学生給費奨学金〔給付〕

教育・研究を通じて国際相互理解を図ることを目的とし、学業成績が優れているが経済的事情のため修学が困難な私費外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する正規留学生）に対して、月額65,000円を給付（学業成績による選考あり）。

〈採用人数〉10名（半期）

②外国人留学生学費減免〔減免〕

学業に精励している外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する正規留学生）に対して、修学を支援するために博士前期課程（修士課程）学生は入学後2年間、博士後期課程学生は3年間にわたり、授業料の3割にあたる金額を減額。ただし、国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生を除く。

■学外 奨学金

①日本学生支援機構（JASSO）奨学金〔貸与〕

勉学意欲が高く、高度な研究能力を持ち、経済的理由により修学が困難であると認められた学生に対して、無利子または有利子で奨学金を貸与。

詳細は日本学生支援機構ホームページおよび中京大学公式ホームページを確認してください。

②服部国際奨学財団奨学金〔給付〕

公益財団法人服部国際奨学財団より、意欲が高く成績優秀な学生（年度により日本人学生または外国人留学生（出身国）の指定あり）に対して、月額10万円を2年間給付（毎年継続の審査あり）。

〈採用人数〉若干名

V 教員組織

人文社会科学研究科長 中山 恵子
 人文社会科学副研究科長 弘 中 史子

日本語日本文学 専攻 修士課程 ・ 人文科学専攻 博士後期課程 (日本語日本文学 領域)	職位	氏名	専門分野	
	教授	大池 茂樹	書道	
	教授	勝亦 志織	中古文学	
	教授	甘露 純規	出版論	
	教授	後藤 英次	古代日本語史	
	教授	酒井 敏	近代文学	
	教授	徳竹 由明	中世文学	
	教授	中川 豊 ☆	図書館学	修士課程のみ担当
	教授	宮内 佐夜香	近代日本語史	
	教授	宮澤 太聡 ☆	文章／談話	
	教授	柳沢 昌紀	近世文学	
	准教授	平塚 雄亮 ☆	日本語方言	
	准教授	森山 真吾 ☆	日本語教育	
	講師	西嶋 頼親 ★	広告／メディア	修士課程のみ担当
	言語文化専攻 修士課程 ・ 人文科学専攻 博士後期課程 (言語文化領域)	職位	氏名	専門分野
教授		明木 茂夫 ☆	日中比較文化論／古典楽理	
教授		岩田 託子	イギリス文学・文化研究	
教授		クリストファー アームストロング	北アメリカ研究	
教授		ジェームズ ダンジェロ	世界の様々な英語	
教授		ジョン エスポジート ★	国際教育	修士課程のみ担当
教授		杉浦 清文	英語圏文学／比較文学	
教授		武井 暁子	イギリス文学	
教授		都築 雅子 ★	語彙意味論／日英対照研究	修士課程のみ担当
教授		土橋 善仁	理論言語学	
教授		中川 直志	英語統語論	
教授		長滝 祥司	心と身体の哲学／認知現象学	
教授		野村 昌司 ☆	理論言語学	
教授		森 有礼	アメリカ文学・批評理論	
教授		亘理 陽一	外国語教育学／教育方法学	
准教授		大滝 宏一	比較統語論／言語心理学	
准教授		樹本 健	日本思想史／比較思想	
准教授		齊藤 公輔 ☆	集会的記憶論／外国語学習論	
准教授		田中 鉄也	宗教学／南アジア研究	
准教授		千葉 洋平 ☆	アメリカ文学・文化	
准教授		中島 太郎 ☆	19世紀フランス文学	
准教授		松元 洋介	英語史的統語論	
講師	岡見 友里江 ★	対照言語学		
講師	亀田 真澄 ☆	メディア研究／感情論	修士課程のみ担当	

★…修士課程・博士後期課程において指導教員として選択できません。

☆…博士後期課程において指導教員として選択できません。

※上記は2025年5月現在の教員組織です。博士後期課程は設置時（2026年4月）の予定教員です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ（右記QRコードからアクセス）を参照してください。



専攻 課程	職位	氏名		専門分野	
	歴史文化専攻 修士課程 ・ 人文科学専攻 博士後期課程 (歴史文化領域)	教授	小川	和也	日本思想史
教授		白根	孝胤	日本近世史	
教授		多田	哲	★ 西洋中世史	
教授		中元	崇智	日本近現代史	
教授		馬部	隆弘	戦国・織豊期論	
准教授		小池	勝也	☆ 日本中世史	
准教授		小早川	道子	☆ 日本民俗学	
准教授		溝口	優樹	☆ 日本古代史	
准教授		米岡	大輔	★ 東欧近現代史	
専攻 課程	職位	氏名		専門分野	
	法・政治学専攻 修士課程 (法学領域) ・ 社会科学専攻 博士後期課程 (法学領域)	教授	緒方	あゆみ	刑法
教授		小山	佳枝	国際法	
教授		柴田	洋二郎	労働法／社会保障法	
教授		杉島	由美子	民法	
教授		土井	崇弘	法哲学	
教授		土岐	孝宏	商法／保険法	
教授		中川	由賀	刑事法	
教授		新里	慶一	商法	
教授		保条	成宏	刑事法／医事法／障害法	
教授		水島	玲央	憲法 *2026年4月から担当予定	
教授		森	まどか	会社法	
教授		矢切	努	法史学	
教授		柳本	祐加子	ジェンダーと法	
教授		横尾	日出雄	憲法	修士課程のみ担当
客員教授		荒川	章三	☆ 租税法	修士課程のみ担当
客員教授		藤田	美咲	☆ 租税法	修士課程のみ担当
准教授		上田	貴彦	民法	
准教授		高野	慧太	知的財産法	
准教授		張	栄紅	行政法	
准教授		中田	静	☆ 刑法／刑事政策学	
准教授		濱崎	智江	民法(財産法)	
講師		永井	洋士	☆ 財産法 *2026年4月から担当予定	
講師		保井	健呉	☆ 国際法／国際人道法	
講師		山田	峻悠	☆ 刑事訴訟法	
専攻 課程		職位	氏名		専門分野
		法・政治学専攻 修士課程 (政治学領域) ・ 社会科学専攻 博士後期課程 (政治学領域)	教授	今井	良幸
教授			今野	泰三	☆ 中東地域研究／平和学
教授	京		俊介	政治過程論	
教授	桑原		英明	行政学／行政管理論	
教授	溜		和敏	国際関係論	*国際関係・国際開発分野
教授	古川		浩司	国際関係論／境界地域研究	*国際関係・国際開発分野
准教授	尾和		潤美	国際開発協力論	*国際関係・国際開発分野
准教授	佐野		八重	☆ 環境保全	*国際関係・国際開発分野
准教授	鈴木		哲造	☆ 日本近現代史	
准教授	平良		好利	☆ 地方政治論／政治過程論	
准教授	鶴田		綾	★ 国際政治史／アフリカ研究	*国際関係・国際開発分野
准教授	ペロンセル		モルヴァン	政治思想史	
准教授	本多		倫彬	☆ 平和構築論／国際協力政策研究	*国際関係・国際開発分野
講師	寺岡		知紀	☆ 政治思想史	
講師	メリサング		ベルコウィッツ	☆ 社会開発／障害と開発	*国際関係・国際開発分野

★…修士課程・博士後期課程において指導教員として選択できません。

☆…博士後期課程において指導教員として選択できません。

※上記は2025年5月現在の教員組織です。博士後期課程は設置時(2026年4月)の予定教員です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ(右記QRコードからアクセス)を参照してください。



	職 位	氏 名		専門分野	
	経済・経営学専攻 修士課程 (経済学領域) ・ 社会科学専攻 博士後期課程 (経済学領域)	教 授	阿 部	英 樹	日本経済史
教 授		内 田	俊 博	環境経済学	
教 授		大 森	達 也	公共経済学／財政政策	
教 授		岡 本	祥 浩 ☆	居住福祉論	修士課程のみ担当
教 授		釜 田	公 良	公共経済学／財政学	
教 授		小 林	毅	金融論	
教 授		近 藤	健 児	国際経済学	
教 授		佐 藤	茂 春	政治と法の経済学	
教 授		鈴 木	崇 児	交通経済学	
教 授		椿	建 也	西洋経済史	
教 授		都 丸	善 央	産業組織論	
教 授		中 山	恵 子	ミクロ経済学	
教 授		西 村	一 彦	社会システム工学	
教 授		平 澤	誠	財政政策	
教 授		古 川	章 好	地方財政学	
教 授		増 田	淳 矢	統計学	
准教授		齊 藤	由里恵	社会保障論	
准教授		塚 本	高 浩 ☆	応用計量経済学	
准教授		西 本	和 見	経済学説史	
准教授		深 堀	遼太郎	労働経済学	
准教授		福 田	勝 文 ☆	国際貿易論	
講 師		石 井	北 斗 ☆	金融論	
講 師		石 田	貴 士 ☆	計量経済学	
講 師		斎 藤	佑 樹 ☆	経済成長論	
講 師		森 本	貴 陽 ☆	経済成長論	

★…修士課程・博士後期課程において指導教員として選択できません。

☆…博士後期課程において指導教員として選択できません。

※上記は2025年5月現在の教員組織です。博士後期課程は設置時(2026年4月)の予定教員です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ(右記QRコードからアクセス)を参照してください。



経済・経営学専攻 修士課程 (経営学領域) ・ 社会科学専攻 博士後期課程 (経営学領域)	職 位	氏 名	専門分野
		教 授	赤 沢 克 洋
	教 授	梅 田 守 彦 ☆	会計学
	教 授	太 田 真 治 ★	国際マーケティング論
	教 授	川 端 勇 樹	組織論／組織間関係論
	教 授	金 炫 成 ☆	ベンチャービジネス論
	教 授	坂 田 隆 文	マーケティング論
	教 授	佐 藤 祐 司	経営科学
	教 授	銭 佑 錫 ☆	国際経営
	教 授	高 橋 秀 雄 ★	サービスマーケティング論 修士課程のみ担当
	教 授	谷 口 勇 仁	企業と社会論
	教 授	永 石 信 ☆	グローバル組織革新
	教 授	中 村 雅 章	ビジネス戦略
	教 授	弘 中 史 子	技術経営論
	教 授	峯 岸 信 哉	金融機関研究
	教 授	宮 内 美 穂 ★	マーケティング
	教 授	向 日 恒 喜	情報管理
	教 授	矢 部 謙 介	コーポレート・ファイナンス
	教 授	吉 田 康 英	財務会計
	准教授	井 関 紗 代 ☆	消費者心理学
	准教授	加 藤 政 仁	コーポレート・ファイナンス
	准教授	齊 藤 毅 ☆	管理会計
	准教授	中 村 将 人 ☆	会計史
	准教授	濱 田 知 美 ☆	技術経営論
	准教授	松 原 日出人	経営史
	講 師	浜 田 敦 也 ☆	中小企業論
	講 師	楊 一 ☆	経営組織論

★…修士課程・博士後期課程において指導教員として選択できません。

☆…博士後期課程において指導教員として選択できません。

※上記は2025年5月現在の教員組織です。博士後期課程は設置時(2026年4月)の予定教員です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ(右記QRコードからアクセス)を参照してください。



VI 卷末書類

卷末書類のヘッダー	書類名	備考
卷末一人社・修士・志願書 卷末一人社・博士・志願書	志願書	
卷末一経費支弁書	経費支弁書	外国人留学生のみ提出
卷末一学歴認証表紙	学歴認証表紙	中国の教育機関を卒業／修了した者（含見込）のみ提出

志願書

受験番号(大学記入欄)

出願する専攻(領域) *()内に○を付す	()日本語日本文学専攻	出願する日程 *()内に○を付す	()前期 ()後期
	()言語文化専攻	出願する試験区分 *()内に○を付す	()一般選抜
	()歴史文化専攻		()社会人選抜
	()法・政治学専攻(法学領域)		()留学生選抜
	()法・政治学専攻(政治学領域)		()税理士選抜
	()経済・経営学専攻(経済学領域)		()卒業生特別選抜
	()経済・経営学専攻(経営学領域)		()学内特別選抜

カナ氏名	(セイ)	(メイ)	写真貼付欄 注)3か月以内に撮影したもの 注)縦4cm×3cm	
漢字氏名	(姓)	(名)		
生年月日/年齢/性別	(西暦) 年 月 日生	歳		男・女 その他 ()
電話番号	自宅	—		—
	携帯	—		—
メールアドレス				
現住所	〒			
合否通知 発送先住所	〒 ※現住所と同じ場合は「同上」と記入			

研究指導希望教員名			
長期履修制度希望 *希望者のみ()内に○を付す 本冊子P.30を参照すること	()希望する	短期履修制度希望 *希望者のみ()内に○を付す 本冊子P.30を参照すること	()希望する
外国人留学生のみ記入	国籍	出願時の在留資格	
		入学後の在留資格(予定)	
	日本国政府又は外国政府等からの学費相当以上の奨学金の支給を受ける場合は○を付す		

選択言語・分野等	言語文化専攻【一般・社会人・留学生選抜志願者】 外国語(選択言語) *()内に○を付す、本冊子P.15を参照すること	()英語 ()ドイツ語 ()フランス語 ()中国語 ()免除希望※ ※免除希望の場合は、外国語外部試験の成績証明書、スコアレポート等のコピーを提出すること。	
	日本語日本文学専攻/歴史文化専攻/法・政治学専攻(法学領域)/経済・経営学専攻【一般・社会人・留学生選抜志願者】 専門科目(選択分野) 本冊子P.14~19を参照すること	志望専門分野 志望専門分野以外*該当者のみ記入	
	法・政治学専攻(法学領域)/経済・経営学専攻(経営学領域)【税理士選抜志願者】 専門科目の免除 *()内に○を付す、本冊子P.18~19を参照すること	()希望する	※免除希望の場合は、税理士試験科目の合格を証明することができる書類のコピーを提出すること。

氏名 _____

学歴

区分	学校名	修業年限	在学期間（西暦）	選択 *○で囲む	学位
小学校		年制	年 月～ 年 月		
中学校		年制	年 月～ 年 月		
高等学校		年制	年 月～ 年 月		
大学	*大学名/学部名/学科名を記入	年制	年 月～ 年 月	・卒業 ・卒業見込 ・その他 ()	
大学院	*大学名/学部名/学科名を記入	年制	年 月～ 年 月	・修了 ・修了見込 ・その他 ()	
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		

※外国籍の者は、通学したすべての教育機関（小学校、中学校を含む）について記入すること。語学学校に通学していた場合は、空欄に記入すること。

※日本国籍の者は、高等学校以降の教育機関（高等学校を含む）について記入すること。

※外国の学校教育を受けた場合は、学校名欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

※日本国内に在住している外国人留学生は、来日後の学歴をすべて記入すること。

職歴、ボランティア歴、社会活動歴

期間（西暦）	事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※社会人選抜に出願する者は、出願資格を満たすことがわかるように明確に記入すること。

※外国で職業に就いていた場合は、事項欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

研究歴

期間（西暦）	事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※外国で研究に従事していた場合は、事項欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

日本語の学力【外国人留学生のみ記入】

*出願資格の根拠となる日本語の学力を証明する書類について（ ）欄に○を付す 詳細は本冊子 P.9 を参照すること	()日本語能力試験(JLPT) ()日本留学試験(EJU)
	()日本の大学を卒業(卒業見込みを含む) ()その他 ()
※上記の日本語の学力を証明する書類を提出すること。 ※日本の大学を卒業(卒業見込みを含む)の場合は、卒業証明書(卒業見込証明書)でよい。	

英語の学力【法・政治学専攻（政治学領域）のみ記入】

*出願資格の根拠となる英語の学力を証明する書類について右に記入すること 詳細は本冊子 P.8～9 を参照すること	※上記の英語の学力を証明する書類を提出すること。
---	--------------------------

※社会人選抜及び卒業生特別選抜志願者のうち、日本政治・公共政策分野を専攻する者は記入する必要はない。

※学内特別選抜志願者は記入する必要はない。

志願書

受験番号（大学記入欄）

出願する 専攻(領域) *()内に○を 付す	()人文科学専攻(日本語日本文学領域)	出願する日程 *()内に○を付す	()前期 ()後期
	()人文科学専攻(言語文化領域)	出願する 試験区分	()一般選抜
	()人文科学専攻(歴史文化領域)		()修了生特別選抜
	()社会科学専攻(法学領域)	*()内に○を付す	()学内特別選抜
	()社会科学専攻(政治学領域)		
	()社会科学専攻(経済学領域)		
	()社会科学専攻(経営学領域)		

カナ氏名	(セイ)	(メイ)	写真貼付欄 注) 3か月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×3cm	
漢字氏名	(姓)	(名)		
生年月日/ 年齢/性別	(西暦) 年 月 日生	歳		男・女 その他 ()
電話番号	自宅	—		—
	携帯	—		—
メールアドレス				
現住所	〒			
合否通知 発送先住所	〒 ※現住所と同じ場合は「同上」と記入			
研究指導希望教員名				
外国人留学生 のみ記入	国籍	出願時の在留資格		
		入学後の在留資格 (予定)		
	日本国政府又は外国政府等からの学費相当以上の奨学金の支給を受ける場合は○を付す			()

選択言語・ 分野等	人文科学専攻(言語文化領域) / 社会科学専攻(法学領域) 【一般選抜志願者】 外国語(選択言語) *()内に○を付す、本冊子P.20~21を参照すること	()英語 ()ドイツ語 ()フランス語 ()中国語 ()免除希望(人文科学専攻言語文化領域のみ) ※ 免除希望の場合は、外国語外部試験の成績証明書、スコアレポート等のコピーを提出すること。
	人文科学専攻(日本語日本文学領域・歴史文化領域) / 社会科学専攻(法学領域) 【一般選抜志願者】 専門科目(選択分野) 本冊子P.20~21を参照すること	

氏名 _____

学歴

区分	学校名	修業年限	在学期間（西暦）	選択 *○で囲む	学位
小学校		年制	年 月～ 年 月		
中学校		年制	年 月～ 年 月		
高等学校		年制	年 月～ 年 月		
大学	*大学名/学部名/学科名を記入	年制	年 月～ 年 月	・卒業 ・卒業見込 ・その他 ()	
大学院	*大学名/学部名/学科名を記入	年制	年 月～ 年 月	・修了 ・修了見込 ・その他 ()	
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		

※外国籍の者は、通学したすべての教育機関（小学校、中学校を含む）について記入すること。語学学校に通学していた場合は、空欄に記入すること。
 ※日本国籍の者は、高等学校以降の教育機関（高等学校を含む）について記入すること。
 ※外国の学校教育を受けた場合は、学校名欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。
 ※日本国内に在住している外国人留学生は、来日後の学歴をすべて記入すること。

職歴、ボランティア歴、社会活動歴

期間（西暦）	事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※外国で職業に就いていた場合は、事項欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

研究歴

期間（西暦）	事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※外国で研究に従事していた場合は、事項欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

日本語の学力【外国人留学生のみ記入】

*出願資格の根拠となる日本語の学力を証明する書類について（ ）欄に○を付す 詳細は本冊子 P.12 を参照すること	()日本語能力試験(JLPT) ()日本留学試験(EJU) ()日本の大学・大学院を卒業(卒業見込みを含む) ()その他 ()
	※上記の日本語の学力を証明する書類を提出すること。 ※日本の大学等を卒業(卒業見込みを含む)の場合は、卒業証明書(卒業見込証明書)でよい。

英語の学力【社会科学専攻（政治学領域／経済学領域一般選抜のみ／経営学領域一般選抜）のみ記入】

*出願資格の根拠となる英語の学力を証明する書類について右に記入すること 詳細は本冊子 P.10～11 を参照すること	
	※上記の英語の学力を証明する書類を提出すること。

中京大学大学院
外国人留学生 経費支弁書
Statement of Financial Guarantee

経費支弁者が日本語または英語いずれも堪能でない場合に限り、経費支弁者に代わり、志願者本人が必要事項を記入することを認める。
その場合、経費支弁者に内容を確認の上、記入すること。ただし、経費支弁者の署名は必ず経費支弁者本人が自筆で氏名を手書きすること（代筆不可）。
If your financial guarantor is not fluent neither in English nor in Japanese, you can fill in the information required on their behalf with their consent. In that case, please write from their perspective. However, the signature must be of your financial guarantor (you cannot sign on their behalf).

中京大学 学長 梅村 清英 様
To UMEMURA Kiyohide, President of Chukyo University

志願者氏名 *パスポート表記 Name of the applicant (student) as in passport					
生年月日 Date of Birth *YYYY/MM/DD	年 YYYY	月 MM	日 DD		

私は、この度、上記志願者の日本国滞在中の経費支弁者となりましたので、下記の通り、経費支弁の引き受け経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。
I hereby, as a financial guarantor, agree to take the responsibility of defraying the expense of the above-mentioned applicant during their stay in Japan as described below.

経費支弁者氏名 (英字) Name of the financial guarantor in English	
志願者との関係 Relationship with the applicant	<input type="checkbox"/> 父 Father <input type="checkbox"/> 母 Mother <input type="checkbox"/> その他 Other ()
経費支弁を引き受けた経緯の説明 Reason for defraying the applicant's expenses	<input type="checkbox"/> 母親/父親として、子どもが日本滞在中に必要な学費・生活費を支払うため I will support my children financially while they will be studying in Japan <input type="checkbox"/> その他 Other ()

私は、上記志願者が中京大学大学院に在学中の留学費用（学費及び生活）について支弁することを誓約します。経費支弁能力の証明として、預金残高証明書を出し、資金形成過程について以下に説明します。また、上記志願者が在留期間更新許可申請を行う際には、自身の預金残高証明書等で、支弁能力を明らかにする書類を提出します。

I guarantee that I will defray the applicant's expense during their study at Chukyo University Graduate School. I will attach my bank statement as a financial evidence of the applicant's capability to pay the cost of studying at Chukyo University Graduate School and explain the fund establishment process below. Further, when the applicant applies for Extension of Period of Stay, I will provide my bank statement to show that I am able to defray the living expense of the applicant.

資金形成 Explanation of fund establishment	<input type="checkbox"/> 給料 Salary <input type="checkbox"/> 年金 Pension <input type="checkbox"/> その他 Other ()
支払い方法 Method of payment	<input type="checkbox"/> 外国からの携行 Carrying from abroad <input type="checkbox"/> 外国からの送金 Remittances from abroad <input type="checkbox"/> その他 Other ()

経費支弁者 Financial guarantor : 預金残高証明書を添付しました。 I have attached my bank statement.

_____ @ _____ + () -
メールアドレス Email address 電話番号 Phone number

住所 Present address

_____ JPY
職業 Occupation 勤務先 Place of employment 年収 Annual income

_____ / /
経費支弁者署名 Signature of guarantor 署名日 (年月日) Date (YYYY/MM/DD)

受験番号（大学記入欄）

学歴認証表紙

以下の名称の証明書を提出する際にこの表紙をつけること。

卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

以下の書類①、②の両方を提出すること。	提出したものに チェックすること
<大学又は大学院を卒業／修了した者>	
① 「中国高等教育学位在线验证报告」の写し	<input type="checkbox"/>
② 「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」の写し	<input type="checkbox"/>
<大学又は大学院に在学中の者>	
① 「教育部学籍在线验证报告」の写し	<input type="checkbox"/>
② 「Online Verification Report of Student Record」の写し	<input type="checkbox"/>

成績（見込）証明書

以下①～③のいずれかの証明書を提出すること。	提出したものに チェックすること
① 最終出身大学が発行した成績証明書の原本	<input type="checkbox"/>
② 中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行した「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」の写し	<input type="checkbox"/>
③ CHSI 日本代理機構が発行した「成績認証報告書」の原本	<input type="checkbox"/>

中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する Web 認証の第三者閲覧用コード（Online Verification Code）を記入すること。	
---	--

出願研究科・ 専攻・課程	人文社会科学研究科	専攻	修士課程 博士後期課程 (いずれかに○)
フリガナ			
氏名			

入試に関する問い合わせ

中京大学 教務センター（大学院係）

TEL (052) 835-9863

窓口 名古屋キャンパス5号館1階

<受付時間> 平日 9:00~17:00

E-mail gs-office@ml.chukyo-u.ac.jp

名古屋キャンパス（設置キャンパス）

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

★この要項は2025年5月現在に確認できる内容に基づいて作成しています。このため、入学時には専任教員等を変更する可能性があります。